

Friends of Asian Students along the Tojo line  
**アジアの留学生と交流する会 通信**

## 2019 年新年会

18 年度の新年会が、2019 年 1 月 13 日(日)に東北コミュニティーセンターで開かれました。

開会挨拶のあと、南京玉簾や花笠音頭の踊りなどが賑やかに披露され、引き続き食事を摂りながら、簡単な自己紹介を交えて話が弾みました。更に、ディサンさんの小 1 の息子がマイクなしで部屋中に聞こえる声で元気に数字を読み上げるビンゴに興じ、奨学金の贈呈のあと、写真を撮って解散しました。

参加者が 20 数人と少なめで、特に留学生のスケジュールが合わなかったのは残念でしたが、会員の誘いに応じて参加して下さった非会員の方の比率は高く、楽しい時を過ごしました。



# ミニ講演会開催

2018年12月23日(日)に、恒例のミニ講演会を行いました。司会は、いつもの、ニラウラ・ディサンさん(ネパール出身社会人)にお願いしました。上手な司会でいつも感謝しています。

今年度奨学生、劉向偉(りゅうこうい)さん(中国・大東文化大学1年)のスピーチは、日本で生活して感じたこと。印象に残るのは、日本ではすべての小中高校に



体育館があることだそうで、中国では考えられないくらい、恵まれていることだそうです。

今年度奨学生の2人目のスピーチはラウル・ブラジス・ジテンダラさん(インド・東京国際大学1年)。インドでは映画産業が盛んになっていて、ボンベイ(ムンバイ)を中心とした、ハリウッド映画みたいな映画という意味で、ボリウッド映画と呼んでいるそうです。インド映画というと、やたら踊るという印象があるかもしれませんが、今はそういうことはなくて、もっと世界に通用するようなものができているとのことでした。

3人目のスピーチは、2017年のミニ講演会に初めて観客として来てくれた、モルドバ出身の社会人のチェボタル・ヴィタリエさん。モルドバの国の話や、ヴィタリエさんが日本に来て、勉強や就職した、いきさつを話してくれました。(話の内容をだいぶ失念してしまいました。すみません。)

4人目に、飛び入りで、この日に来場したカナダ国籍で中国出身の社会人(学生もやりつつある。)の蔡鍵豪(さいけんこう)さんのスピーチ。日本のアニメや漫画に興味があり、その勉強をしたいということを話してくれました。ここ最近のミニ講演会は観客が少なく残念でしたが、今回は観客が10人くらい来てくれて盛り上がりました。

終了後、有志でマルイファミリー志木にて食事会をしました。